



News Release

「コニカミノルタ CSR レポート 2014」を発行・WEB サイト上で公開 ～「中期環境計画 2016」では、環境負荷低減と企業の成長の両面で目標を設定～

2014年6月20日

コニカミノルタ株式会社（本社：東京都千代田区 社長：山名 昌衛、以下 コニカミノルタ）では、ステークホルダーの皆様にご覧いただき、コニカミノルタの CSR（企業の社会的責任）の取り組みを分かりやすく報告することを目的として、「コニカミノルタ CSR レポート 2014」を発行し、WEB サイト（<http://www.konicaminolta.jp/about/csr>）上にて公開いたしました。

コニカミノルタは、「新しい価値の創造」という経営理念のもと、お客様や社会の課題解決に役立つ新しい価値の提供を通じて、「グローバル社会から支持され、必要とされる企業」「足腰のしっかりした、進化し続けるイノベーション企業」という経営ビジョンの実現を目指しています。

2014 年度からは、新しい中期経営計画「TRANSFORM 2016」をスタートし、全ての事業においてお客様本位で業容転換を進めて、お客様と社会の課題解決に貢献する製品やソリューション・サービスの提供による「価値」の創出に取り組んでいます。同時に、社会に対する責任を果たす「CSR 経営」の一層のレベルアップを目指しています。

今回の CSR レポートでは、特集として、「医療」「エネルギー」「資源循環」の3領域で、社会の質の向上に貢献する新しい価値の創造への取り組み事例を取り上げました。いずれの事例でも、コニカミノルタならではの技術力と課題解決力を発揮し、独創的な「アイデア」から価値ある「かたち」を生み出しています。

また、環境への取り組みでは、長期環境ビジョン「エコビジョン 2050」の実現に向けたアクションプランとして、新たに 2016 年度をターゲットとして策定した「中期環境計画 2016」をご説明しています。「環境課題の解決と企業の競争力向上の両立」をコンセプトとする「中期環境計画 2016」では、「グリーンプロダクツ（企画・開発）」「グリーンファクトリー（調達・生産）」「グリーンマーケティング（物流・販売）」の「3つのグリーン活動」を重点テーマに掲げ、テーマ毎に環境負荷低減と企業の成長の両面で目標を設定しています。企業の成長（企業価値の向上）の側面で目標を立てるのは、コニカミノルタの中期環境計画において、初めての試みです。

環境負荷低減と企業の成長の両立は、コニカミノルタグループの枠を超え、お取引先との協業にも拡大しつつあります。コニカミノルタが培った環境ノウハウを活用して、お取引先とともに生産工程の改善活動を進めることで、コストダウンと CO₂ 排出量削減を両立する取り組みを推進しています。この取り組みは、品質・生産性向上、コストダウンを主目的としていますが、材料やエネルギー削減など環境負荷低減にもつながっています。2013 年度は、これら取り組みの結果、年間で約 1,800 トンの CO₂ を削減しました。さらに、「中期環境計画 2016」では、グループ生産拠点での CO₂ 削減目標に加えて、調達に関わる CO₂ 削減目標を掲げ、お取引先との協働をさらに拡大しながら、サプライチェーン全体での環境負荷低減に取り組んでいきます。

なお、コニカミノルタが算定した 2013 年度のサプライチェーン全体の CO₂ 排出量実績は、約 140 万トンで、2012 年度から約 6.8%減少しました*。

コニカミノルタのCSRレポートは、2005年度版以降継続して日本語・英語・中国語・ドイツ語・フランス語の5言語での作成を行うなどグローバルを意識した情報発信を特長としております。

* 原則として国際標準であるGHGプロトコル（温室効果ガス(GHG)排出量の算定と報告のガイドライン）の基準に準拠して算定している。

関連リンク：コニカミノルタのCSRの取り組み <http://www.konicaminolta.jp/about/csr>

本件に関するお問い合わせ先
コニカミノルタ株式会社 広報グループ
TEL：03-6250-2100